

# 平成29年度 決算の状況

村民の皆様には、日頃より村政の各般にわたり  
深いご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

猿払村の財政状況は、借金(起債)残高の減少など  
回復の兆しがある一方、国からの地方交付税への依存や  
やむなく村の貯金(基金)を取りくずすなど厳しい状況が  
続いています。

「住みよいまちづくり」のためにも、今後とも  
村民の皆様の村政への積極的な参加・ご支援を  
賜りますようお願い申し上げます。



総務課財政管財係  
〔 電話:01635-2-3131 〕  
〔 FAX:01635-2-3812 〕

## 目 次

課・局	係	会計	ページ
議会事務局		一般会計	1
総務課	総務係	一般会計	1
	管財係	一般会計	1～2
	情報防災係	一般会計	2
	財政係	一般会計	2
	選挙管理委員会	一般会計	3
企画政策課	企画係	一般会計	3
	観光係	一般会計	4
	地場産品開発係	一般会計	4
産業課	農政係	一般会計	4～5
	水産商工林務係	一般会計	5
住民課	税務係	一般会計	6
	生活環境係	一般会計	6～7
建設課	土木係	一般会計	7
	建築係	一般会計	8
	上下水道係	簡易水道事業 特別会計	8
		下水道事業 特別会計	9
保育所		一般会計	9～10
保健福祉課	福祉係	一般会計	10
	国保介護係	国民健康保険 特別会計	11
		介護保険特別会計 (保険事業)	12
		後期高齢者医療 特別会計	12
	健康推進係	一般会計	12～13
地域交流課	管理・事業係	一般会計	13
	地域包括 支援センター	一般会計・ 介護保険特別会計 (介護サービス事業)	13～14
教育委員会	総務・学校教育係	一般会計	14～15
	社会教育・ 社会体育係	一般会計	15
	学校給食センター	一般会計	15
国民健康保険病院		国民健康保険 病院事業会計	16
稚内地区 消防事務組合 猿払支署			16
全会計の借金の返済額			17

## 議 会 事 務 局

### 村議会議員への報酬等【2,695万円】

村議会議員8名に対する報酬・期末手当と共済費の合計です。

## 総 務 課 ( 総 務 係 )

### 職員人件費【5億7,087万円】

特別職等3名及び一般職67名に対する人件費です。  
職員数については退職者がいる一方で、毎年計画的に新規採用者を補充しているためほぼ横ばいに推移しています。

・特別職(村長・副村長・教育長)	3,065万円
・一般職(特別会計・病院・消防を除く)	5億4,022万円

【一般職人件費内訳】

議会費	総務費	民生費	衛生費
1,683万円	1億9,419万円	1億2,445万円	4,589万円
農林水産業費	商工費	土木費	教育費
4,956万円	1,259万円	3,765万円	5,906万円

### 国内外交流事業【283万円】

姉妹村提携のオジョールスキイ村から学童訪問団受入及び中国人技能実習生と村民との文化交流事業の充実を図っています。また、友好都市石川県内灘町との文化交流事業のほか、国内交流の推進を行っています。

国際交流協会への補助	211万円
その他補助金等	72万円

## 総 務 課 ( 管 財 係 )

### 公共施設の管理業務等【1億3,349万円】

公共施設における管理運営を、(有)猿払振興公社への委託・指定管理により行っています。平成29年度は環境省補助金を活用した既存公共施設等の大幅な低炭素化を進めるため、LED照明及びボイラー等の改修費用の施設調査を行っています。改修については平成30年度に一斉に行っています。また、平成30年度の実施へ向けて、旧役場庁舎等解体工事の調査設計を行いました。

公共施設管理業務委託 拓心中・各小学校(5校)・学校給食センター・図書室・保育所(2所)・公園	1億448万円
生活改善センター指定管理料	763万円
公共施設LED照明等設備調査設計業務委託料	1,652万円
旧役場庁舎等解体調査設計業務委託料	486万円

### 乗合自動車の運行【3,075万円】

交通空白地区である小石地区を対象として10人乗りの車両を使ったデマンドバスを運行しています。さらに、高齢者や身体障害者など生活するうえで交通機関を利用することが困難な方に対しては、福祉タクシーを運行しています。

デマンドバス運行業務委託料	1,408万円
福祉タクシー運行業務委託料	1,095万円
福祉タクシー車両購入事業	300万円
燃料費ほか	272万円

## 総務課（情報防災係）

### 地域情報通信基盤運営事業【5,063万円】

光ネットワークによる地上デジタル放送、音声告知放送等の管理運営をしています。

・地域情報通信基盤機器保守点検業務委託	678万円
・地域情報通信基盤屋外拡声器更新工事	2,977万円
・光ケーブル新設等工事	574万円
・電柱添架使用料	242万円
・修繕料	173万円
・備品購入	242万円
・事務費・施設維持費など	177万円

### 災害対策費【152万円】

緊急情報メール配信システムの構築、防災用備品の購入により、災害に備える体制を整備しました。

全国瞬時警報システム保守業務委託・設定変更手数料	30万円
緊急情報メール配信システム保守業務委託料	32万円
災害備蓄品、その他事務費等	90万円

## 総務課（財政係）

### 財政管理費【324万円】

予算編成や予算執行、職員給与事務に係る財務会計システムの管理を行っています。また、統一的な基準による財務書類作成の為のシステム運用管理を行っています。

・財務会計システム保守点検業務委託	102万円
・財務会計システム賃借料	118万円
・地方公会計システム運用管理業務委託	86万円
・その他事務費等	18万円

## 総務課(選挙管理委員会)

### 選挙事務費【545万円】

選挙管理委員会の運営、国・道・村の選挙事務や最高裁判官の国民審査、住民投票に関する事務を行っています。

※選挙費については国及び北海道からの選挙費委託金を財源に充てています。

村長選挙費	85万円
衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費	406万円
選挙管理委員会費(委員報酬・費用弁償など)	54万円

## 企画政策課(企画係)

### 広報活動【215万円】

村内の行事など取材活動を行い「広報さるふつ」の発行をするほか、村ホームページの管理を行っています。

広報作成経費 広報誌発行(年12回)、回覧発送(年24回)	186万円
ホームページサーバー賃借料	29万円

### 地域集会施設の運営【1,585万円】

集会施設の指定管理 集会施設(9ヶ所)の管理を各自治会へお願いしています。 (※管理に係る費用は村9割、自治会1割で負担しています。)	679万円
---	-------

村内集会施設改修工事 ・浜猿払交流センタードア改修工事 ・知来別研修センター物置部屋改修工事 ・芦野地域集会所トイレ改修工事 ・猿払村水産加工総合管理センターストーブ取替工事 ・浜猿払交流センター手摺り等設置工事	768万円
施設維持管理費等	138万円

### 移住促進事業【1,922万円】

移住体験等を通じて猿払村の事をよく知っていただき、将来的に猿払村へ移住していただけるように環境整備やイベント開催を行っています。

感謝イベント実施業務委託	400万円
移住体験ツアー実施業務委託	999万円
移住促進事業実行委員会補助金	333万円
その他諸経費	190万円

### ふるさと応援基金積立金【7,675万円】

猿払村を応援しようとする方から広く寄附金を募り、これを財源として各種事業を実施しております。

平成29年度については16,460件、1億9,692万円の寄附をいただき、必要経費を除いた7,675万円を「ふるさと応援基金」へ積立を行いました。ご寄附をいただいた方には、お礼として村の特産品をお送りしています。

## 企画政策課（観光係）

### 猿払村観光協会補助金【3,141万円】

村の観光の振興を目的とした「さるふつ観光まつり」の実施などを通じ、地域の活性化や地場産品のPRなどを行い、消費拡大を図っています。

### 「猿払村「ふるさとの家」の運営【4,288万円】

(有)ヤマトさるふつ観光の指定管理のもと営業しています。

指定管理料	3,812万円
施設修繕料・火災保険料など	476万円

### 地産体験施設「さるふつまるごと館」の運営【370万円】

猿払村の地場産品を体験飲食できる施設を、小松水産(株)の指定管理のもと営業しています。

指定管理料	335万円
施設修繕料・火災保険料など	35万円

## 企画政策課（地場産品開発係）

### 乳肉加工施設「牛乳と肉の館」運営事業【935万円】

基幹産業の一つである酪農業の生産品に付加価値をつけた販売や加工品の体験実習を行うなど、乳製品の消費拡大を図っています。

指定管理料	720万円
引込用気中開閉器取替工事	72万円
保冷車格納車庫建替工事	139万円
火災保険料	4万円

## 産業課（農政係）

### 中山間直接支払事業【7,624万円】

農地の果たす役割は国土保全から環境保全まで幅広いため、耕作放棄地を出すことなく農地を守ることが大切です。そのためにも本事業では平地に比べ農業生産条件が不利な中山間地域の生産者に対し支援を行っています。

負担割合：国50% 道25% 村25%
交付面積：5,082ha

【財源内訳】

国の負担額：3,812万円
北海道の負担額：1,906万円
村の負担額：1,906万円

### 村営牧野運営事業【1,517万円】

村の畜産の振興と農業経営の安定を図るため、村営牧野の有効的な利用を行っています。

村営牧野施設等指定管理料	200万円
火災保険料	60万円
堆肥舎屋根等改修工事	1,166万円
村営牧野浜鬼志別場内通路補修工事	91万円

**道管草地畜産基盤整備  
(道管草地整備(公共牧場整備))事業負担金【1,790万円】**

地域農業の維持・発展のため公共牧場の草地や施設の整備を行い、利用農家の安定を図るとともに周辺農家の草地等を一体的に整備することで、地区全体の土地利用型畜産体系の確立を図っています。

現年分	208万円
面整備 公共牧場:10.45ha 農家1戸:2.68ha	
ゼロ国債分	1,440万円
面整備 公共牧場:33.34ha 農家4戸:56.52ha	
繰越分	142万円
面整備 公共牧場:4.10ha	

**産業課(水産商工林務係)**

**有害鳥獣対策【750万円】**

顕在化する有害鳥獣による農業被害に対し、猟友会と連携し対応を図っています。

鳥獣被害対策実施隊員報酬	13万円
有害鳥獣駆除委託料	737万円

**地域水産物供給基盤整備事業【224万円】**

漁港の航路や泊地などを確保するため、護岸等の老朽化により漁船等の安全航行等に支障が生じないように水産基盤施設の長寿命化対策と防災上必要な改良工事を実施し、安全性の確保を図っています。

地域水産物供給基盤整備事業負担金	224万円
知来別漁港 浚渫、トラックスケール周辺舗装	
浜鬼志別漁港 浚渫	
浜猿払漁港 (耐震機能診断 測量及び設計) けい留、用地、浚渫	

**6次産業化ネットワーク活動交付金事業【4,337万円】**

国の間接事業補助金を活用し、猿払村漁業協同組合浜鬼志別冷凍加工場におけるほたて貝柱製造用機械設備導入に対して補助を行いました。(トンネルフリーザー、自動電子計量機、自動袋詰シール機導入)

ほたて貝柱製造用機械設備導入費補助金	4,337万円
--------------------	---------

**中小企業への支援【4,209万円】**

中小企業並びに商工業者に対する経営改善事業及び指導、地域振興事業の実施に有効に活用されています。また、中小企業に対する運転資金として稚内信用金庫に預託を行うほか、融資利子に対する補助を行い支援しています。

経営改善普及事業費補助金	暮らし応援商品券発行事業	商工業振興事業助成金	融資利子補給補助金	預託金
615万円	449万円	600万円	45万円	2,500万円

## 住民課（税務係）

### 税金の課税や納税に関する経費【1,009万円】

道村民税や固定資産税などの課税根拠の調査及び納入通知書の発行、そのほか税金を納めていただくために必要な経費です。

#### 【徴収実績】

	村民税	固定資産税	軽自動車税	たばこ税	国保税
収入額	5億 6,497万円	1億 4,452万円	574万円	2,501万円	1億 9,562万円
徴収率	99.6%	99.4%	99.3%	100.0%	97.5%

電算システムに係る経費 (賃借料・保守料など)	村税等電算処理業務及び 路線評価替え処理業務委託料	その他の事務経費 (納入通知書の印刷製本費など)	過年度税過誤納返還金
294万円	436万円	110万円	169万円

## 住民課（生活環境係）

### ごみ処理対策【1億4,799万円】

#### 一般廃棄物処理等に係る経費

一般廃棄物の収集・運搬等処分に要する費用や、一般家庭からの不燃ごみ・粗大ごみと南宗谷衛生施設組合で焼却処理した可燃ごみの焼却灰を埋立処理する「管理型一般廃棄物最終処分場」施設の維持管理に係る経費です。

#### 【主な経費】

一般廃棄物最終処分場施設管理業務委託	1,998万円
一般廃棄物収集運搬及び資源化業務委託	3,348万円
一般廃棄物ごみ専用袋購入	507万円
一般廃棄物ごみ専用袋販売手数料	94万円
備品購入	124万円
その他事務費など	1,416万円

#### リサイクルセンター施設の運営

資源ごみを回収し分別基準に適合するように「リサイクル資源化」を行っている施設の維持管理経費です。

#### 【主な経費】

選別圧縮機械保守点検業務委託	65万円
分別基準適合物引取業務委託	1万円

#### 南宗谷衛生施設組合負担金

し尿・浄化槽汚泥・可燃ごみ・粗大ごみ・生ごみ、下水道汚泥などの処理を行うため、昭和46年に設立した「南宗谷衛生施設組合(3町1村)」の管理運営費や施設整備に関わる償還金を負担しています。【平成29年度負担額 7,246万円】

#### 【ごみ処理対策経費の財源内訳】

一般廃棄物収集運搬業務許可手数料	一般廃棄物ごみ専用袋等売払収入等	北海道からの委託金	村の負担額
1万円	770万円	4万円	1億4,024万円



### 戸籍住民基本台帳管理に係る経費【1,846万円】

戸籍情報システムなどを使い各種交付事務等を行っています。

戸籍情報システム賃貸借及び保守点検業務委託	567万円
住民記録システム賃貸借	716万円
統合宛名システム改修等委託	292万円
負担金	184万円
その他事務費など	87万円

## 建設課（土木係）

### 村道・橋りょう整備事業【7,425万円】

村道の路面補修・草刈・路面清掃等の維持管理及び橋りょう修繕を行い、交通安全など住民生活の安定を図っています。

村道維持補修工事	3,001万円
鬼志別市街8号線舗装工事	980万円
鬼志別市街14号線道路補修工事	389万円
浜鬼志別9号線道路補修工事	664万円
鬼志別地区排水路整備工事	460万円
橋梁修繕設計業務委託(開念橋(小石豊里線))	864万円
橋梁修繕工事(北星橋(知来別市街4号線))	1,067万円

### 除雪対策【1億9,432万円】

村道の路面補修・草刈・路面清掃等の維持管理を行い、交通安全など住民生活の安定を図っています。

除排雪業務委託	1億7,973万円
---------	-----------

村内の全地域と、公共施設の駐車場などの除排雪を業者の委託により行っています。

防雪柵の設置	1,459万円
--------	---------

村道のうち、風雪と地吹雪などによって吹きだまりが頻繁に発生する産業路線と生活路線を対象に、防雪柵を設置(撤去)し、地域住民の交通安全の確保と民生安定に努めています。

#### 【財源内訳】

道道上猿払浅茅野線除雪業務委託金	98万円
集乳農道除雪費負担金	310万円
臨時道路除雪事業費補助金	2,400万円
村の負担額	1億6,624万

## 建設課（建築係）

### 公営住宅の維持管理【4,335万円】

日常生活に支障となる修繕要望に対して、迅速な対応を行い、快適な住環境の確保に努めています。

熱交換器維持管理業務委託	49万円
公営住宅管理システム賃借・保守業務委託	95万円
給湯機等賃借料	393万円
新浅茅野団地敷地排水改修工事	2,797万円
新鬼志別団地裏法面補修工事	190万円
苗畑団地単身向住宅ユニットバス入替工事	83万円
修繕料・事務費など	705万円
公営住宅等ストック総合改善事業	23万円

### 公営住宅整備事業【6,314万円】

老朽化し改善不能な公営住宅の除却を進めながら用地を確保しつつ、既存ストックの延命化のための改善工事の実施と合わせ、計画的な建替え事業を進めています。

知来別団地実施設計業務委託	523万円
知来別団地解体工事	797万円
新浜鬼志別団地新築工事	4,994万円

### 民営賃貸住宅の促進【2,800万円】

全村的に賃貸住宅が不足傾向にあることから、その解消に向けて、村内で1棟あたり4戸以上の民間アパートを新築する業者に対して、建設費の一部を助成しました。

村内業者による建設への助成1,400万円×2棟	2,800万円
-------------------------	---------

## 建設課（上下水道係）

### 簡易水道事業【2億5,841万円】

水道は私たちの毎日の暮らしに欠かせないものです。村では、みなさんに美味しい飲料水を提供するため、水道施設(取水施設・浄水施設・配水施設)などの適正な維持管理と施設の整備を行い、生活環境の向上に努めています。

職員の人件費	事務費など	施設管理費	施設整備費	過去の施設整備等で国などから借り入れた借金の償還
1,938万円	184万円	1億774万円	4,268万円	7,836万円
収納システム保守点検及び賃借料	水道メーター設置基金積立金	消費税納付金		
53万円	756万円	32万円		

【簡易水道事業会計の主な財源内訳】

水道使用料収入	1億791万円
一般会計からの繰入金	1億1,083万円
国等からの借入(過疎債・水道事業債)	3,680万円

### 下水道事業【1億8,394万円】

下水道は快適な生活環境や川や海などの自然環境、そして水産資源を守るために必要不可欠なものとなっています。漁業集落排水処理施設及び農業集落排水施設、個別排水処理施設の管理・改修を行うほか、個別排水処理施設整備事業を継続して実施しており、普及率は90%を超え、日々進む下水道の普及により生活環境衛生の向上と公共用水域の水質保全が進んでいます。

職員の人件費	事務費など	施設管理費	施設整備費	過去の施設整備等で国などから借り入れた借金の償還
475万円	16万円	9,093万円	638万円	7,924万円
収納システム 保守点検及び 賃借料	消費税納付金			
34万円	214万円			

#### 【下水道事業会計の主な財源内訳】

下水道使用料収入	4,411万円
一般会計からの繰入金	1億1,933万円
国等からの借入(過疎債・下水道事業債)	2,040万円

## 保 育 所

### 保育所の運営【1億4,001万円】

家族の就労を支援するため、0歳児から5歳児までの児童を家族に代わり保育します。(乳幼児保育・延長保育・一時保育・療育児保育を含む)  
また園内外各種研修への参加やマニュアルの作成を通し、事故防止の徹底や園児の健康管理・職員の資質向上を図っています。

月平均101人、延べ1,215人を保育
平成30年3月在籍児童数107人(鬼志別91人、浜鬼志別16人)
乳幼児保育22人(鬼志別29人、浜鬼志別1人)

#### 運営経費内訳

職員の人件費	7,266万円
臨時保育士・代替保育士等の人件費	1,987万円
園児健康診断委託料及び歯科検診委託料	110万円
所内の維持に係る委託料(清掃・電気設備等)	277万円
未満児保育室空調設備設置工事	292万円
鬼志別保育所加湿器設置工事	664万円
振興公社委託料(給食)	2,467万円
その他事務費など	938万円

### 子育て支援センターの運営【2,223万円】

子育て支援センターを中心に各機関と連携を図り、予防的支援に視点をおき、親子が気軽に交流できる「ちびっこ広場」「すやすや広場」や虐待の早期発見、家庭訪問などを展開し子育て支援拠点づくりに努めています。

職員の人件費	子育て講演会などの講師謝礼(委託)	備品購入	事務費など
2,055万円	68万円	9万円	91万円

#### 【主な事業内容】

- ・育児不安等の指導・相談
- ・子育て及びフレッシュ講座
- ・ブックスタート
- ・文庫貸出
- ・子育てボランティア
- ・家庭訪問
- ・中高生体験実習

### 学童保育事業の運営【248万円】

働く女性の増加や核家族化など家族構成の変化により、児童保育の重要性と必要性が求められていることから、保育に欠ける児童(小学校1年生から6年生)の受入れを行い、適切な遊びや生活の指導などを通じ健全な育成を図っています。

代替保育士の賃金	その他事務費など
213万円	35万円

## 保健福祉課(福祉係)

### 特別養護老人ホーム「さるふつやすらぎ苑」への補助【8,684万円】

さるふつやすらぎ苑では、小規模特別養護老人ホームの運営のほか、デイサービス、ホームヘルプサービス、ショートステイなどを行っており、高齢になっても安心して暮らせる「村」の実現のため、福祉体制の充実をめざしています。

運営費補助金【8,684万円】	
施設運営費補助 【5,898万円】	施設整備等補助 【2,786万円】

### 障害者に対する通院通所費の助成【160万円】

障害者等が社会復帰するため社会復帰施設等への通院や通所に対する交通費やを助成し、その経済的負担の軽減を図っています。

在宅障害者等通所 交通費助成金	精神障害者 通院通所助成金	特定疾患通院通所 助成金
86万円	40万円	34万円

### 児童手当の給付【4,210万円】

中学校修了前までの子どもを養育している方に対して、手当が支給されます。  
(ただし、手当の受給は一定の所得制限などがあります。)

手当給付費	システム保守料	過年度分返還金	事務費など
3,416万円	14万円	768万円	12万円

#### 【財源内訳】

国からの負担金・補助金	2,640万円
道からの負担金	533万円
村の負担額	1,037万円

## 保健福祉課(国保介護係)

### 国民健康保険事業【5億6,926万円】

国民健康保険(こくほ)は、皆さんが病気やけがをしたとき、安心して医療を受けられるように、加入者の皆さんが保険税を出し合い、必要な医療費を負担しているという制度であり、特別会計という独立した会計制度で運営されています。

#### 人件費や事務費など【3,859万円】

職員人件費	代替職員人件費	システム経費	その他事務費など
912万円	221万円	2,535万円	191万円

#### 保険税徴収に係る経費【126万円】

システム経費	その他事務費など
44万円	82万円

#### 国保運営協議会に係る経費【4万円】

#### 医療の給付・医療費などの支給【2億3,109万円】

病気やケガで診療を受けるとき、保険証を医療機関に提示することにより医療費の7割を「こくほ」が負担しています。

#### 高額療養費の支給【2,106万円】

医療費の自己負担額が一定額を超えた場合は、その超えた額が「こくほ」から支給されます。

#### 出産育児一時金【336万円】

「こくほ」加入者に子どもが生まれたときに一時金として42万円を支給しています。

#### 葬祭費【6万円】

「こくほ」加入者の葬祭時に葬祭費2万円を支給しています。

#### 前期・後期高齢者支援金及び老人保健拠出金【6,156万円】

65歳以上の方、75歳以上の方の医療費の一部を「こくほ」から支出しています。

#### 介護給付費納付金【2,697万円】

介護保険第2号被保険者(40歳から64歳までの人)の負担額を支出しています。

#### 共同事業拠出金【1億3,519万円】

高額医療費・退職者医療制度・保険財政共同安定化などの共同事業について、北海道国民健康保険団体連合会へ拠出金の支出をしています。

#### 特定健康診査【126万円】

40～74歳の「こくほ」加入者を対象とした健康診査を実施しています。

特定健康診査等委託料	110万円
その他事務費など	16万円

#### 保健衛生普及費【550万円】

健康推進係で実施の健康診査の委託料に対するの負担を行っています。

また、「こくほ」加入者が村国保病院でインフルエンザワクチンを接種するときの自己負担を無料として感染防止を図っています。

他には糖尿病やメタボリック症候群をはじめとする生活習慣病や合併症の予防、またその重症化を防ぐことを目的に、集団教室での生活改善指導の委託も行っていきます。

健康診査費用負担金	インフルエンザ予防接種委託料	国保保健指導事業業務委託	事務費など
112万円	142万円	281万円	15万円

#### 基金積立金【3,098万円】

#### 保険税還付及び交付金等過年度分償還金など【1,234万円】

#### 【国民健康保険事業の財源内訳】

皆さんが納めた保険料	1億9,562万円
国からの負担金・補助金	1億4,546万円
北海道からの負担金・補助金	4,504万円
社会保険診療報酬支払基金からの交付金等	365万円
共同事業からの交付金	1億4,840万円
一般会計からの繰入金など	6,874万円

### 介護保険事業【2億3,182万円】

介護保険は40歳以上の被保険者が納める保険料と、国・北海道・市町村からの公費(税金)を財源として、介護などの支援が必要となった被保険者に介護サービスを提供することにより、被保険者自身とその家族を支援する制度です。

人件費や事務費など【901万円】

職員人件費	システム経費	事務費
450万円	438万円	13万円

賦課徴収費【10万円】

介護認定審査会費【176万円】

計画策定委員会費【225万円】

保険給付費【2億909万円】

特別養護老人ホームなどの施設入所や、訪問介護(ホームヘルプサービス)、通所介護(デイサービス)などの介護サービス費用のうち、本人負担を除いた費用を事業者などに支払っています。

地域支援事業費【844万円】

介護予防事業、包括的支援事業及びその他の地域支援事業を行うことにより、被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援しています。

介護予防・生活支援サービス事業	一般介護予防事業費	包括的支援事業・任意事業費	その他諸費
756万円	70万円	16万円	1万円

諸支出金【117万円】

【介護保険事業の財源内訳】

皆さんが納めた保険料	4,591万円
国からの負担金・補助金	5,283万円
北海道からの負担金・補助金	3,486万円
社会保険診療報酬支払基金からの交付金	6,143万円
一般会計・基金からの繰入金	3,969万円
前年度繰越金	127万円

### 後期高齢者医療事業【3,043万円】

この制度は、高齢者の方々が安心して医療を受け続けられるようにするため、若い世代を含めて皆さんと支え合う医療制度です。

対象者(被保険者)は75歳以上の方(65歳～74歳で一定の障害がある方を含みます)となっており、原則として医療費の窓口での負担は1割となっています。

なお、この医療制度の保険者は「北海道後期高齢者医療広域連合」となりますが、保険料の徴収は村が行います。

後期高齢者医療広域連合納付金	保険料徴収システム関係経費	事務費
2,944万円	91万円	8万円

【後期高齢者医療事業の財源内訳】

皆さんが納めた保険料	2,133万円
一般会計からの繰入金など	933万円

## 保健福祉課(健康推進係)

### 予防接種事業【989万円】

乳幼児などが障がいの重い病気や伝染病にかからないよう、各種予防接種を行なっているほか、幼児・児童・高齢者のインフルエンザ予防接種を行っています。

また、任意予防接種である子宮頸がん予防接種を小学5年生から中学3年生の女子を対象に無料化して実施し、将来的な発症のリスクの軽減を図りました。

法定予防接種	法定外予防接種
681万円	308万円

### 各種健康診査事業【1,156万円】

病気の早期発見、早期治療のために各種の健康診査を行っています。  
 節目年齢の女性に対しては、乳・子宮がん検診を無料で受診できるようにクーポン券の配布を行っています。  
 また、健康管理システムを用いて村民の健康管理を行うことにより、個人に合った指導・予防を行っています。

システム管理費	187万円
検診委託料	969万円

【財源内訳】

受診者の方からの負担金	174万円
国からの補助金	14万円
村の負担額	968万円

## 地域交流課(管理・事業係)

### 小規模多機能型居宅介護等施設建設事業【4億4,245万円】

小規模多機能型居宅介護等施設「<sup>ちらはーと</sup>楽楽心」が平成29年10月1日にオープンしました。「<sup>ちらはーと</sup>楽楽心」は工事期間が複数年度にまたがっており、総事業費は、8億4,253万円となっています。

工事監理業務委託【476万円】
工事費【3億8,137万円】
公用車購入【1,024万円】
備品購入【4,608万円】

【財源内訳】

介護サービス提供基盤等整備事業費交付金	1,769万円
地域づくり総合交付金(福祉振興・介護保険基盤整備分)	490万円
再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業補助金	46万円
小規模多機能型居宅介護等施設整備事業債	3億8,400万円
ふるさと応援基金とくずし	548万円

### 地域交流施設運営事業【1,102万円】

「<sup>ちらはーと</sup>楽楽心」では、様々な交流イベントを開催する等、村民誰もが気軽に交流できる施設づくりに努めています。

施設維持管理費	賄材料費	その他事務費など
697万円	185万円	220万円

#### 【平成29年度の主な交流事業内容】

- ・内灘町との給食交流
- ・親子で一緒に工作教室
- ・地域活動と社会貢献
- ・スマート住宅における  
 ウェルビーイング・サポートサービスの開発
- ・みんなで一緒に工作教室

## 地域交流課(地域包括支援センター)

### 介護予防・生活支援事業【809万円】

介護状態に陥ることや悪化することを防ぐために、定期的な筋力トレーニング教室、家事援助、配食サービスなどを提供し、規則正しい生活の支援を行っています。

介護予防・生活支援事業委託	転倒予防教室講師派遣委託	事務費など
652万円	64万円	93万円

【財源内訳】

利用者の方が納めた負担金	93万円
村の負担額	716万円

### 介護サービス事業【1億655万円】

高齢者福祉制度に関する情報提供・地域支援調査会議の開催・各関係機関との連絡調整・介護に係る相談事業などを通じ、総合的な支援を行っています。また、小規模多機能型居宅介護等施設「<sup>ららほーと</sup>楽楽心」にて、通いや宿泊、訪問サービスの提供により機能訓練を行って

施設管理費【9,925万円】

職員人件費	臨時職員賃金	施設維持管理費	その他事務費など
8,827万円	220万円	697万円	181万円

小規模多機能型居宅介護サービス事業費【382万円】

地域包括支援センター事業費【245万円】

指定居宅介護支援事業費【1万円】

地域支援事業費【102万円】

【財源内訳】

小規模多機能型居宅介護サービス費収入	456万円
介護予防小規模多機能型居宅介護サービス	162万円
居宅介護予防支援サービス計画費収入	120万円
小規模多機能型居宅介護使用料	49万円
介護予防小規模多機能型居宅介護使用料	22万円
一般会計からの繰入金など	1億238万円

### 教育委員会(総務・学校教育係)

#### スクールバス等運行事業【5,144万円】

本村は集落が分散しており、保育所園児、小学校児童、中学校生徒の通園・通学スクールバスの運行により対応を図っています。平成29年度は14人乗りのスクールバスを購入し、道路状況的に大型のバスでは運行が難しい地区のニーズに対応しました。

運行业務委託料	2,922万円
スクールバス購入	1,436万円
車両維持費等	786万円

#### 学校施設の管理及び教育振興に係る経費【1億1,295万円】

小・中学校の教育課程の実施に必要な教育備品などの購入を行うほか、読書活動の普及啓発として図書購入、各校舎の設備等の改修を行いました。

※各小・中学校の施設管理については(有)猿払振興公社へ委託しています。

☆小学校(6校)【8,500万円】

施設管理経費及び事務費など	各種委託料	図書・備品購入	工事費
4,589万円	1,160万円	232万円	2,519万円

【工事費の内訳】

鬼志別小学校体育館床ウレタン施工改修工事	108万円
鬼志別小学校等校舎暖房設備改修工事	1,685万円
各小学校トイレ改修工事	146万円
浜鬼志別小学校遊具設置工事	580万円

☆中学校(1校)【2,795万円】

施設管理経費及び事務費など	各種委託料	図書・備品購入	工事費
1,546万円	61万円	74万円	1,114万円

【工事費の内訳】

拓心中学校体育館床ウレタン施工改修工事	192万円
拓心中学校体育館暖房設備更新工事	691万円
拓心中学校校舎トイレ改修工事	231万円



### 教職員住宅の維持管理【2,051万円】

教職員住宅の営繕など教職員の住環境の維持改善を図り、福利厚生などに努めています。

#### ☆小学校教職員住宅【1,820万円】

修繕料・火災保険料等	384万円
工事費	1,436万円

#### ☆中学校教員住宅【231万円】

修繕料・火災保険料等	80万円
工事費	151万円

## 教育委員会(社会教育・社会体育係)

### 各種活動の実施及び団体への支援など【3,959万円】

さまざまなスポーツを楽しめる機会を設けることにより、健康的な生活を送る事ができ、地域内外との交流・親睦も図ることができます。そのために体育施設を快適に利用し、心地よくスポーツ活動ができるよう、適正な維持管理などを行い施設環境の向上に努めています。また、スポーツのみならず各種学習機会の提供や施設の開放等により、芸術や文化活動の推進に努めています。

各種補助金	292万円
-------	-------

スポーツ団体や、文化行事等の実行委員会等、各種団体活動に対し補助を行うことで、団体活動の育成を図り、団体間の連携強化を図っています。

施設管理委託料	2,027万円
---------	---------

農村環境改善センター	スポーツセンター	村営プール	村営スキー場
841万円	526万円	313万円	347万円

施設の補修・改修工事	1,640万円
------------	---------

農村環境改善センター ガラスブロック改修工事	旧猿払小学校 引込用気中開閉器 等改修工事	スポーツセンター トイレ改修工事	村営スキー場 斜路整備工事	その他修繕料
270万円	115万円	72万円	877万円	306万円

## 学校給食センター

### 学校給食センターの運営【3,580万円】

小、中学校の児童と生徒に対して、安全でおいしい給食を提供しています。なお、給食調理と給食配送は、(有)猿払振興公社へ業務委託を行っています。

職員の人件費	各種委託料 (設備点検等)	備品購入	その他施設 管理費
1,638万円	136万円	986万円	820万円

## 国民健康保険病院

### 国民健康保険病院事業【5億3,162万円】

村唯一の医療機関として、地域住民の医療を担うため、内容の充実を図り医療サービスを行っています。  
平成29年度の入院患者数は前年度比3,267人減の延べ3,276人、外来患者数は1,135人減の13,078人です。

#### 病院事業の運営費【5億708万円】

施設の維持管理費及び医薬品の購入費などです。  
(このうち、職員人件費は3億1,738万円です。)

#### 医療器械購入等経費【2,059万円】

耐用年数を経過したあとも継続して使用している器械が多いことから、必要性や使用頻度などを総合的に判断した中で計画的に更新し、医療サービスの向上を図っています。

電子内視鏡システム購入	全自動散薬分包機購入	給食用備品購入	施設関係備品購入	リース資産購入
1,508万円	309万円	114万円	60万円	68万円

#### 企業債の償還【395万円】

過去の病院施設整備などで借りた資金の返済に充てる費用です。

#### 病院事業の収益内訳

【総額 5億3,162万円】

医業収益 2億3,962万円		医業外収益 2億9,200万円	
うち入院分 4,987万円	うち外来分 1億4,937万円	うち 国からの補助 93万円	うち一般会計 からの繰入 2億8,703万円
その他医業収益 4,038万円		その他医業外収益 404万円	

## 稚内地区消防事務組合猿払支署

### 消防行政経費【2億1,166万円】

火災予防体制の強化と機動力の高度化を図り、火災などの災害や救急出動に備えています。  
また、高齢者世帯などの雪おろし・除雪を行うほか、緊急通報装置設置及び安否確認、通院搬送などの支援を行っています。

#### 職員の人件費【1億1,855万円】

#### 消防団の運営費【1,981万円】

#### 消防施設整備に要した経費【5,502万円】

消火栓 新設工事	小型動力ポン プ付水槽車
108万円	5,394万円

#### その他事務費など【1,828万円】

## 全会計の借金の返済額(元利償還金)

過去において、地域整備(道路、集会施設、公営住宅、上下水道、病院など)を行うため、国などから借り入れた借金の返済金です。

会計別	平成28年度末 残高	平成29年度 元利償還額	平成29年度 借入額	平成29年度末 残高
一般会計	52億7,177万円	5億3,510万円 (4億9,711万円)	6億9,056万円	54億6,522万円
簡易水道会	7億1,950万円	7,836万円 (6,639万円)	3,680万円	6億8,992万円
下水道会	8億3,435万円	7,924万円 (6,365万円)	2,040万円	7億9,109万円
病院会	4,664万円	520万円 (395万円)	/	4,269万円
合計	68億7,226万円	6億9,790万円 (6億3,110万円)	7億4,776万円	69億8,892万円

※平成29年度元利償還額の( )内の金額は元金償還額になります。

村財政を圧迫している最も大きな要因は、借金を返済するためのお金(公債費)の負担が高くなっているためです。村では、過疎地域やへんびな地域に指定された市町村のみが発行可能で、償還額の一部がのちに交付税として交付される利点のある、以下の起債を活用して財政の健全化に努めています。

- ☆過疎債 …………… 過疎地域に指定された市町村が発行することができる起債(借金)で、元利償還額の70%が普通交付税で交付される制度の起債です。
- ☆辺地債 …………… 辺地(へんびな地域)に指定された市町村が発行することができる起債で、元利償還額の80%が普通交付税で交付される制度の起債です。

# 資 料 編

- ① 平成29年度歳入決算の状況(一般会計)…………… (1)
- ② 平成29年度歳出決算の状況(一般会計)…………… (2)
- ③ 基金の状況(平成29年度末残高)…………… (3)
- ④ 公債費(借金)の内容…………… (4)

## 資料編

### 平成29年度歳入決算の状況(決算統計分析数値)

(一般会計)

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減 額	増減率(%)
村税	740,237	638,570	101,667	15.9
地方譲与税	75,288	75,664	△ 376	△ 0.5
利子割交付金	2,059	953	1,106	116.1
配当割、株式譲渡交付金	6,166	3,003	3,163	105.3
地方消費税交付金	57,416	54,198	3,218	5.9
自動車取得税交付金	18,796	12,866	5,930	46.1
地方特例交付金	352	355	△ 3	△ 0.8
地方交付税	2,122,123	2,237,870	△ 115,747	△ 5.2
普通交付税	1,806,082	1,930,194	△ 124,112	△ 6.4
特別交付税	316,041	307,676	8,365	2.7
交通安全対策特別交付金	0	530	△ 530	△ 100.0
<b>小 計(純一般財源)</b>	<b>3,022,437</b>	<b>3,024,009</b>	<b>△ 1,572</b>	<b>△ 0.1</b>
分担金及び負担金	11,504	11,090	414	3.7
使用料及び手数料	105,843	96,074	9,769	10.2
国庫支出金	188,947	322,634	△ 133,687	△ 41.4
道支出金	415,603	206,738	208,865	101.0
財産収入	25,210	27,450	△ 2,240	△ 8.2
繰入金	864,751	310,155	554,596	178.8
繰越金	77,534	147,810	△ 70,276	△ 47.5
諸収入等	395,325	366,899	28,426	7.7
村債	690,558	726,725	△ 36,167	△ 5.0
<b>歳 入 合 計</b>	<b>5,797,712</b>	<b>5,239,584</b>	<b>558,128</b>	<b>10.7</b>

#### ★ 地方交付税とは

地方交付税は、5つの国税(所得税・法人税・酒税・消費税・たばこ税)を、それぞれ一定の割合で、さまざまな基準のもと、地方公共団体の自主性を損なわないよう地方財源の均等化を図るため交付されるものです。また、普通交付税と特別交付税の2種類に分けられ、交付総額のうち概ね、普通交付税は94%、特別交付税は6%の割合で交付されます。

#### ★ 繰入金とは

特定の事業を行う目的のための積立基金(特定目的基金)と、一般会計でお金の不足が生じたときに使うことができる積立基金(財政調整基金など)があり、これを使うため予算措置を行ったものが「繰入金」です。

平成29年度の繰入金収入済額は8億6,475万円です。

#### ★ 村債とは

村が借金をする行為、または、借金そのものを示します。多額の費用がかかる大型事業などを行うときに、一定の制限と許可を受けて地方債の発行(借金)が認められるものが「起債」という制度です。

## 平成29年度歳出決算の状況(決算統計分析数値)

## (目的別決算)

(単位:千円/%)

区 分	決 算 額	うち特定財源	うち一般財源	決算構成比率
議会費	45,995	0	45,995	0.8
総務費	800,345	357,825	442,520	14.0
民生費	1,722,580	713,995	1,008,585	30.0
衛生費	663,819	18,654	645,165	11.6
労働諸費	41	0	41	0.0
農林水産業費	690,907	377,574	313,333	12.1
商工費	194,241	33,558	160,683	3.4
土木費	482,863	193,087	289,776	8.4
消防費	232,568	50,500	182,068	4.1
教育費	361,767	79,559	282,208	6.3
公債費	535,136	51,933	483,203	9.3
災害復旧費	2,938	1,700	1,238	0.1
<b>歳出合計(目的別)</b>	<b>5,733,200</b>	<b>1,878,385</b>	<b>3,854,815</b>	<b>100.0</b>

## (性質別決算)

(単位:千円/%)

区 分	決 算 額	うち特定財源	うち一般財源	決算構成比率
1. 義務的経費	1,302,953	197,247	1,105,706	22.7
人件費	604,013	35,716	568,297	10.5
扶助費	163,804	109,598	54,206	2.9
公債費	535,136	51,933	483,203	9.3
2. 投資的経費	849,619	676,110	173,509	14.8
補助事業	137,386	121,179	16,207	2.4
単独事業	709,295	553,231	156,064	12.4
災害復旧事業	2,938	1,700	1,238	0.1
失業対策事業費	0	0	0	0.0
3. その他の経費	3,580,628	1,005,028	2,575,600	62.5
物件費	815,168	240,826	574,342	14.2
維持補修費	223,618	43,466	180,152	3.9
補助費等	1,242,255	567,513	674,742	21.7
積立金	855,557	90,350	765,207	14.9
投資及び出資金・貸付金	35,800	0	35,800	0.6
繰出金	408,230	62,873	345,357	7.1
<b>歳出合計(性質別)</b>	<b>5,733,200</b>	<b>1,878,385</b>	<b>3,854,815</b>	<b>100.0</b>

☆ 歳出決算額を性質別に分類すると、義務的経費・投資的経費・その他の経費の3つに大別することができます。

## ★ 義務的経費とは

地方公共団体の歳出のうち、その支出が義務づけられ任意に節減ができない経費が「義務的経費」です。

その歳出の効果が資本形成に向けられ、施設などがストックとして将来に残るものに支出される経費が「投資的経費」です。また、「生産的経費」とも言われます。

資料編

基金の状況

基金の名称	平成28年度 末残高	平成29年度 積立額	平成29年度 とりぐずし額	平成29年度 末残高	基金の目的
財政調整基金	7億2,409万円	3,817万円		7億6,226万円	災害などによる一般財源の不足が生じたときの財源として使うことができます。
減債基金	2億8,141万円	3万円		2億8,144万円	村債(借金)の償還金の財源として使うことができます。
漁船漁具保全施設整備基金	3,711万円	391万円		4,102万円	漁船漁具施設(上架施設など)整備の費用として使うことができます。
JR天北線代替輸送確保基金	1億9,372万円	3万円	1,830万円	1億7,545万円	代替バスの運行経費と通学定期補助の費用として使うことができます。
人材育成基金	1,964万円		115万円	1,849万円	人材育成事業の費用として使うことができます。
学校教育等に関する芸術振興基金	726万円		44万円	682万円	芸術鑑賞などの機会の確保のために使うことができます。
水産振興基金	7,800万円	3,000万円	2,000万円	8,800万円	漁業経営の安定及び水産振興にかかる費用に使うことができます。
福祉のまちづくり基金		6億2,387万円	1億2,211万円	5億176万円	村管牧野に係る施設整備の費用として使うことができます。
酪農業振興基金	5,540万円	7,000万円	1,166万円	1億1,374万円	酪農業の安定及び酪農業振興にかかる費用に使うことができます。
ふるさと応援基金	1億4,304万円	7,676万円	7,167万円	1億4,813万円	5つの特定目的事業のほか、ふるさと猿払村づくり全般に関する事業の実施のために使うことができます。
公共用施設維持補修基金	4億3,290万円	248万円	4,390万円	3億9,148万円	村が整備した公共用施設の修繕その他の維持補修に使うことができます。
快適な住まいづくり促進基金	3,703万円	84万円	200万円	3,587万円	村内に持家住宅を新築する方や持家を改修する方に対し、経費の一部を助成します。
地域情報通信基盤基金	1億1,859万円	946万円	2,976万円	9,829万円	地域情報通信基盤施設の大規模な改修等に使うことができます。
老人福祉基金	5億4,369万円	7万円	5億4,376万円		社会福祉法人への助成などのために使うことができます。
北海道市町村備荒資金組合積立金	1億2,864万円	126万円		1億2,990万円	大きな災害が発生したときの復旧のために使うことができます。
水道メーター設置基金	1,238万円	756万円	1,993万円		水道メーターの設置に要する費用に使うことができます。
国民健康保険事業基金	1億1,256万円	3,098万円		1億4,354万円	保険給付に係る費用に不足が生じたときに使うことができます。
介護給付費準備基金	481万円			481万円	保険給付に係る費用に不足が生じたときに使うことができます。
計	29億3,027万円	8億9,542万円	8億8,468万円	29億4,101万円	

★ 平成29年度末残高 29億4,101万円を、住民1人当りに換算すると

約110万円の積立額となります。(平成27年度の国勢調査人口 2,684人で算出しています。)

## 借金の内容(全会計)

## 【一般会計】

(単位:千円)

区 分	平成28年度末残高	平成29年度 発 行 額	平成29年度 元金償還額	平成29年度末残高
公共事業等債	110,337	2,700	3,606	109,431
公営住宅建設事業債	327,055	27,900	25,585	329,370
災害復旧事業債	1,996	1,700	792	2,904
教育・福祉施設等整備事業債	107,792	0	14,845	92,947
一般単独事業債	611,592	1,000	117,585	495,007
辺地対策事業債	118,320	8,900	23,546	103,674
過疎対策事業債	1,641,811	549,700	62,323	2,129,188
厚生福祉施設整備事業債	573	0	140	433
国の予算貸付・政府関係機関貸付債	230,218	0	51,623	178,595
財源対策債	150,012	2,000	30,202	121,810
臨時財政特例債	0	0	0	0
減税補てん債	32,666	0	6,455	26,211
臨時税収補てん債	1,617	0	1,617	0
臨時財政対策債	1,909,766	96,658	150,138	1,856,286
都道府県貸付債	28,017	0	8,648	19,369
合 計	5,271,772	690,558	497,105	5,465,225

## 【簡易水道事業特別会計】

区 分	平成28年度末残高	平成29年度 発 行 額	平成29年度 元金償還額	平成29年度末残高
辺地対策事業債	56,264	12,100	5,230	63,134
過疎対策事業債	25,133	5,600	3,199	27,534
簡易水道事業債	596,601	19,100	47,580	568,121
資本費平準化債	41,507	0	10,378	31,129
合 計	719,505	36,800	66,387	689,918

## 【下水道事業特別会計】

区 分	平成28年度末残高	平成29年度 発 行 額	平成29年度 元金償還額	平成29年度末残高
過疎対策事業債	70,342	1,200	12,557	58,985
下水道事業債	537,983	2,300	37,009	503,274
資本費平準化債	226,020	16,900	14,086	228,834
合 計	834,345	20,400	63,652	791,093

## 【国民健康保険病院事業会計】

区 分	平成28年度末残高	平成29年度 発 行 額	平成29年度 元金償還額	平成29年度末残高
病院事業債	46,641	0	3,952	42,689
合 計	46,641	0	3,952	42,689